



今月の題字

川村 将史君
(船越小4年)

町のわだい

商店街で大試食祭 家族連れが海の幸を満喫

12月17日、山田町商工会主催の大試食祭が中央町の特設会場で開かれました。商店街の活性化を図ろうと開かれたもので、会場は試食券と引き換えるため、町内で16、17の両日、500円以上の買い物をし、レシートを持参した家族連れでにぎわいました。カキフライやマグロ、カキ、ホタテのにぎりの試食には長い列ができ、来場者は海の幸を満喫。マグロの解体ショーではマグロが豪快にさばかれると、見物客から感嘆の声が上がっていました。



山田高1年生が職場体験 仕事の喜びと厳しさを知る

山田高校の1年生79人が12月5日から3日間、町内の民間企業などでインターンシップ（職場体験学習）を行いました。生徒たちは理美容や製造業、販売業、官公庁など希望する職場で実際に仕事を手伝いながら、勤労の尊さや意義について学びました。織笠保育園を訪れた笹原心君、沼崎めぐみさん、村井駿介君の3人は、園児の食事の世話や遊戯の補助など生活指導を体験。仕事の喜びと厳しさ、責任の重さを肌で感じ取っていました。

豊中生徒から善意の結晶 車いす3台を町に寄贈

12月5日、豊間根中学校生徒会の執行部7人が役場を訪れ、文化祭のバザーや資源回収活動の益金で購入した車いす3台を町に寄贈しました。贈呈式では、生徒会長の加賀谷麻衣さん(3年)が「町の福祉に役立ててください」とあいさつ。沼崎喜一町長は「皆さんの活動に感謝します。この取り組みを後輩たちにも伝えていってください」とお礼の言葉を述べました。車いすは山田町社会福祉協議会を通じて、体の不自由な町民に貸し出されます。

